

山岳携帯トイレネットワークの構築について

落原正之（富山県生活環境部自然保護課）

1. はじめに

近年、中高年による登山ブームが進む中、山岳環境保全への関心が益々高まり、山岳トイレの環境保全型への改善等が山小屋や地方公共団体により進められてきている。

富山県においても、「富山県快適トイレ推進プラン」に基づき、山岳公衆トイレでの土壌浄化循環方式の採用や山小屋トイレの合併処理浄化槽への転換、尿尿燃焼機の設置などが計画的に実施されている。

しかし、縦走途中などにおいて、山小屋や公衆トイレが十分な間隔で配置されていない所では、野外での、俗に言う「お花摘み」や「キジ打ち」がやむを得ず行われており、これが特定の場所に集中すると土壌の浄化力を越え、使用した紙類も散在して生態系を壊す原因ともなっている。

現在、これらの黄害から山岳地の大切な自然環境を守る有効な手段の1つとして、「山のトイレさわやか運動」等で、携帯トイレの携行・持ち帰りが呼びかけられているところだが、販売箇所が特定のスポーツ用品店に限られて入手しづらいことや購入価格が比較的高いこと、また、使用済みトイレを山行中ずっと持ち歩くことへの違和感や未使用で持ち帰っても平地での利用がほとんどないことなどもあり、思うように普及しない現状にある。

このようなことから、携帯トイレの使いやすい仕組みを作り出すことにより、携帯トイレの一層の普及と利用促進を図り、山岳環境の保全に資することを目的に、以下のネットワークの構築を提案する。

2. 山岳携帯トイレネットワーク構想

別紙「山岳携帯トイレネットワーク図」のとおり、山小屋やターミナルなどが連携して、携帯トイレの販売、回収、引取、処理を共同事業として行い、持ち帰りの負担感やコストの負担感の軽減を図る。

3. ネットワークの目指すところ

- ① 区域内に存する全宿泊施設、交通機関が、販売、回収、引取を取り扱うことにより、利用への特殊感をなくし、携帯トイレの購入、使用済みトイレの投棄処理等を容易にすること。

（自宅まで、持ち帰ることをなくすことにより、排泄物を持ち歩く違和感や漏れ等の不安を小さくすることができる。）

- ② 環境保全協会（山荘組合）による製品の一括購入や、現在、体系化されているゴミの収集・処理業務委託の中でゴミ類と一緒に焼却処理することにより、一利用当たりの

コストを抑えること。

- ③ 引取を可能とすることで、体調不良時等、有事に備えた携行を容易にし、不使用時の無駄感を解消すること。

4. それぞれの役割と内容

(1)環境保全協会（山荘組合）による一元管理

a. 携帯トイレの一括購入と配布

現在、スポーツ用品店等では、市販価格が便袋 1 と高密閉ポリ袋 1 のセットで約 300 円程度（消費税抜き）となっているが、大量仕入れにより、大幅に単価を下げる。

シーズン始めに一定量を山小屋等に配置し、シーズン中の販売状況に応じて、適宜、補充配布などの在庫管理を行う。

b. ゴミ類との一括収集処理の委託

現在、山荘等から排出されるゴミ類を、清掃業者に委託して収集・焼却処理していることから、使用済み携帯トイレもゴミ類と一緒に里に下ろし焼却処理する。

c. 共通専用回収箱の制作・配置

使用済み品の投入場所が容易に判別できるよう、全山小屋共通の組立式専用回収箱を制作し、配置する。（共通回収箱なので制作コストも軽減される。）

d. 売上金の回収と手数料等の配分

定期的に山小屋等から売上金を回収し、各販売量に応じた手数料の支払いと運搬処理量に応じてゴミ焼却費として支払った携帯トイレの処理費を配分する。

繰り返し販売により劣化したポリ袋と便袋を回収・処理する。

(2)山小屋、ターミナルでの販売、回収、引取

a. 販 売

ターミナル売店や山小屋受付カウンターに、環境保全のための携帯トイレの使用推奨とネットワークを説明したパネルを掲示し、携帯トイレを販売する。

特に、長い区間、公衆トイレや山小屋がない箇所へ行く人や山々を縦走する人、初心者で体調管理がうまくできない人には、宿泊費等の精算時に携行を奨める。

在庫量を常に把握し、食料品などのヘリ運搬に併せて協会に補充を依頼する。

b. 回 収

ターミナルのトイレ横や山小屋入口脇に専用回収箱を設置し、使用済み携帯トイレの回収を行い、ゴミ類と一緒に（ヘリで）搬出する。

c. 引 取

体調不良時等に備え携行したが、幸いにして、未使用の場合、持ち帰っても平地での利用がほとんどないことから、携帯トイレを引取り、引取り手数料を除いた料金の返還をする。（山行中に損傷したものや他社製品は、引取らない）

引取った携帯トイレは、損傷等を再点検の上、再販する。

(3)その他

- a. 公衆トイレボックス（携帯トイレ専用トイレ小屋）の設置
通行量が多く、かつ、岩陰などが少ない箇所では、使用しにくいことから、携帯トイレ専用の小屋（トイレボックス）を景観阻害とならない箇所に設置する。

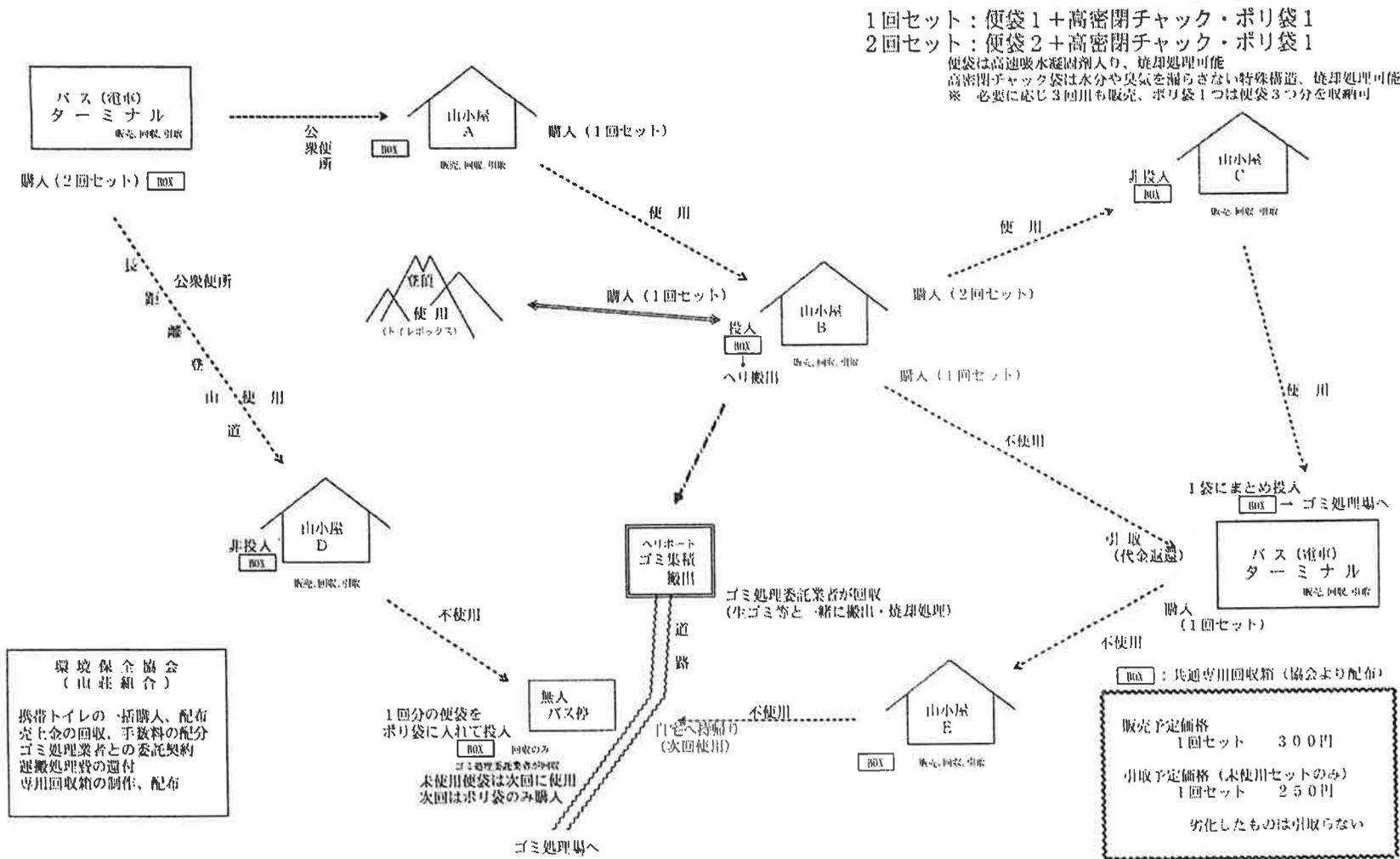
5. 販売、引取の概算価格

価格の設定に際しては、環境保全活動の一環として実施するため、利益を求めないことを原則とする。

- a. 携帯トイレ仕入れ予定価格（1枚当たり）
便袋（高速吸水凝固剤入り）
仕入れ価格： 85円（大量仕入れ時）
ポリ袋（高密閉チャック、便袋3枚収納可）
仕入れ価格： 120円（大量仕入れ時）
- b. 使用済み品の運搬・処理費
ヘリ運搬（平均運搬距離 5km 帰り荷）
1回セット 20円
ゴミ収集車運搬、焼却場処理（有料道路通行料含）
1回セット 15円
- d. 販売予定価格（消費税含）
1回セット 300円
- e. 引取予定価格
1回セット 250円

6. おわりに

現在、このネットワークを来年度より立山、劔岳、薬師岳地区において試行すべく、関係者と調整中である。1～2年の試行後、問題点等を整理・解決したうえで、出来るだけ早い時期に北アルプス全域での実施を呼びかけることとしたい。



<山岳携帯トイレネットワーク図>